

東京23区が
見える。わかる。

2024 WINTER

Vol.55

ワンツースリー One23

公益財団法人特別区協議会 特別区自治情報・交流センター発行の東京23区情報誌

特集

四季のあるみんなの公園 もっと知ろう 楽しもう!

■公園

- 渋谷区…北谷公園
- 中野区…平和の森公園
- 杉並区…阿佐谷けやき公園
- 豊島区…南池袋公園
- 北区…荒川緑地一体
- 荒川区…宮前公園

■クマなくさんぽ

…東京2020大会のレガシーを活かす
アイルしながわ

■所蔵資料蔵出し

…[遊宇宙]

もっと活用しよう!

特別区自治情報



こんなことしたよ

「茨城ふるさとフェア」

令和5年10月19日(木)に東京区政会館1階オープンスペースにおいて、「茨城ふるさとフェア」を開催しました。当日は茨城県19市町村と茨城県アンテナショップ「イバラキセンス」が出店し、特産品の販売、観光情報などのPRを行い大変賑わいました。イベントを通じて、多くの方に茨城県の魅力を感じていただけたことと思います。

出展団体

日立市、常陸太田市、大子町、笠間市、小美玉市、城里町、東海村、潮来市、行方市、鉾田市、つくばみらい市、美浦村、利根町、稲敷市、古河市、下妻市、筑西市、坂東市、桜川市、茨城県アンテナショップ「イバラキセンス」



フェアの様子

東京9区文化財古民家展示「私たちの町に古民家を残す」

こんなことしたよ

令和5年9月9日(土)から11月1日(水)まで、東京区政会館1階エントランスホールにおいて、東京9区文化財古民家めぐり実行委員会との共催によるパネル展示「私たちの町に古民家を残す」を開催しました。

かつて江戸近郊農村であった9区(※)には、文化財に指定された古民家が保存されています。展示では、各区において古民家を調査・保存した経緯や移築した当時の様子をふりかえり、模型やパネルを通して古民家を残り伝えていくための取り組みや、見どころについて紹介しました。 ※足立区、板橋区、江戸川区、北区、江東区、杉並区、世田谷区、練馬区、目黒区(五十音順)



展示会場の様子

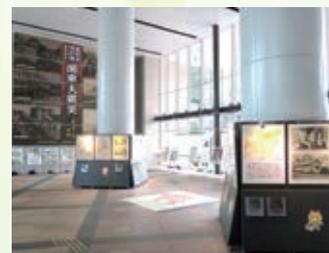
こんなことしたよ

公益財団法人特別区協議会・東京都公文書館共催パネル展示「東京市刊行物からみた関東大震災～被害と復興」

令和5年11月7日(火)から12月25日(月)まで、東京区政会館1階エントランスホールにおいて、東京都公文書館との共催によるパネル展示「東京市刊行物からみた関東大震災～被害と復興」を開催しました。

大正12(1923)年9月1日に発生した関東大震災では、南関東から東海地方にかけ広範な被害が発生し、東京や横浜の大火災等により10万人以上が犠牲となりました。

関東大震災から100年目の節目に当たる今年、本展示では、被害の実態から復興に至る先人たちの取り組み等を、東京市が発行した刊行物を中心に紹介しました。



展示会場の様子

・交流センター

特別区自治情報・交流センターとは？

23区(特別区)と地方自治の専門図書館として約11万5千冊の資料を所蔵しています。特別区や地方自治について知りたい、調べたいときなどにご利用ください。

所蔵資料
蔵出し

おすすめのほんだよ

当センターの資料から読み解いてみよう!



▶▶▶ 遊宇宙

特別区資料室 発行

本資料は、特別区協議会の資料室が1990年から2001年まで発行していた機関紙です。「危機管理」「生活の中のデザイン」「エイジ・フリー」など様々なテーマについて特集されており、自治体職員、大学教授、企業の代表、作家といった幅広い分野の有識者が執筆した記事や座談会の内容などが掲載されています。

今回は、本資料のうち「情報化」について取り上げた号をご紹介します。



創刊号(1990年4月発行)

創刊号では、「情報化社会」について特集されています。

巻頭の記事では、情報化社会の本質は何か、それはどのように社会を変えていくのかをテーマとして、黒川和美氏(法政大学教授)、今田高俊氏(東京工業大学教授)、木下知己氏(日本総合研究所地域開発研究部長、主席研究員)、有田昌志氏(特別区協議会事務局長)による座談会の内容がまとめられています。

また、都市の国際化の先進的活動事例として、北九州市の研究機関などの事例が紹介されています。

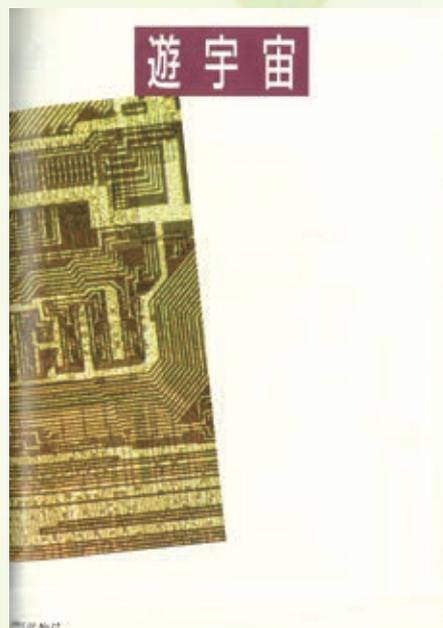
※ ()内は発行当時の肩書

第12号(1995年10月発行)

第12号の特集は「情報／メディア／都市」です。新しいメディアが発達し、身近なものになっていくなかで、情報化・メディアの進化について考えることがテーマとなっています。

地域の情報化に関する水越伸氏(東京大学社会情報研究所助教授)へのインタビュー内容をまとめた記事では、インターネットの普及によって「単純に文化の一元化が進む、というよりは、むしろ、多層化・多元化という方向が強い」「メディアの発達・普及で重要度が増すのは、経済や技術ではなく、「人」です」と述べています。

※ ()内は発行当時の肩書



★特別区自治情報・交流センターでは、本資料を実際に手にとって閲覧いただけます。興味のある方はお気軽にカウンターまでお声がけください。

普段とは違う視点から見た23区、
知ればもっと面白い!

コマなく さんぽ



品川区

東京2020大会のレガシーを活かす 「アイルしながわ」

2022年(令和4年)10月にオープンした「アイルしながわ」は、旧東品川清掃作業所を、パラスポーツをはじめとするスポーツと文化の活動拠点として活用することで共生社会の実現を目指すとともに、まちのにぎわいを創出しています。

スポーツと文化活動を支援

品川区が東京都からの移管を受けた旧東品川清掃作業所が、2020年度(令和2年度)までの清掃事業用途指定期間を終了し、スポーツと文化を中心とした活動の拠点施設「アイルしながわ」として生まれ変わりました。

品川区では、2021年(令和3年)に開催された東京2020パラリンピック競技大会をきっかけに、「ブラインドサッカー」を応援してきました。アイルしながわでは、東京2020大会で培われたレガシーを活かし、パラスポーツをはじめとするスポーツ団体などの支援活動を継続しています。また、アーティストの制作や展覧に関しても支援しています。

練習や発表会など多様に活用

利用できる設備は、バスケットゴールのある「スポーツコート」と、アート作品の展示やコンサートなど多目的に利用できる「ユーティリティエリア」、屋外の「外周エリア」の3エリアです。建物の外壁や屋内には大型の壁面アートが描かれており、この場所でスポーツを楽しむことができます。

ブラインドサッカーや車いすバスケといったパラスポーツの練習やスポーツの体験イベントのほか、アート制作のワークショップ、オーケストラのコンサート、バンド・劇団・ダンスの練習、マルシェ、防災訓練など、利用者の自由な発想のもとに、さまざまな用途で活用されています。

デフスポーツ*の啓発にも注力

2025年には、日本初の「東京2025デフリンピック」が、東京で開催されます。アイルしながわでは、このデフリンピック東京大会に向けて昨年と今年秋に、デフスポーツの普及啓発と聴覚障害の理解促進を通じて、共生社会の実現に寄与することを目的に「デフスポーツ&アートフェア」を開催しました。

今後は、パラスポーツや文化活動への支援とともに、多様なニーズに対応できる運営体制を整え、イベント会場としての利用も促進することで、まちのにぎわいの創出を目指していきます。また、施設の認知度を向上させ、比較的利用の少ない平日午後の利用を増やしたいと考えています。

*耳が聞こえない(Deaf)方のための競技



▲▼壁面アートのある「スポーツコート」



▲屋外イベントに最適な「外周エリア」



▲アートや音楽活動等に活用されている「ユーティリティエリア」

2023年10月14日(土)に開催された 「デフスポーツ&アートフェア」

デフサッカー体験教室や手話アートのワークショップ、音を体で感じる音楽鑑賞会、サインマインによるワークショップなど、障害の有無に関わらず誰でも楽しめる内容で、多くの参加者で賑わいました。



アイルしながわ(旧東品川清掃作業所)

所在地 品川区東品川2-3-2
開館時間 13:00 ~ 21:00、土日祝9:00 ~ 21:00
休館日 第3火曜、12/29 ~ 1/3、その他品川区が定める日時
利用料金 無料(利用には事前登録と予約申し込み等の条件あり)
アクセス りんかい線・東京モノレール天王洲アイル駅すぐ
お問合わせ アイルしながわ事務局
03-6433-2130



特集

第3回(全4回)

四季のあるみんなの公園

もっと知ろう 楽しもう!

東京23区の公園を特集! 今回は計6区を ピックアップします!



渋谷区



地域との連携により、神南エリアの魅力を発信

渋谷区の公園では初となる「Park-PFI制度※」を活用した「北谷公園」は、2021年(令和3年)にリニューアルオープンしました。以前は、自転車やバイクの駐輪や短時間の休憩利用が主でしたが、四季の移ろいを感じられる緑や人気のカフェがある居心地のよい空間として再整備することで、地域の賑わい創出や活性化の拠点となる公園に生まれ変わりました。高低差を活用した階段ベンチなど、座れる場所が多く設置されていることもあり、平日休日問わずさまざまな人々が訪れ、思い思いに寛いでいます。

※公園の整備を行う民間の事業者を公募し選定する制度



園内では、モデルやファッション関係者のフリーマーケットやフードスタンド、映画上映、アート、音楽などをテーマにしたイベント「JINNAN MARKET」を定期開催しています。こうしたイベントを地域と連携して開催することで多くの人を呼び込み、神南エリアの地域価値向上を目指しています。

北谷公園

所在地 渋谷区神南1-7-3
開園時間 常時開園
休園日 なし
利用料金 無料
アクセス JRほか渋谷駅より徒歩7分
お問い合わせ しぶきたパートナーズ info@shibuya-kitaya-park.tokyo



中野区



あらゆる世代の人々が、憩い交流する公園へ

「平和の森公園」は、中野刑務所跡地に開設された公園です。地下式の下水処理場とともに防災公園として整備を進め1985年(昭和60年)にオープンし、2017年(平成29年)からの再整備工事を経て、2020年(令和2年)に再オープンしました。四季を彩る既存の緑を継承した園内には、全天候型の300mトラックや総合体育館、水遊びのできるじゃぶじゃぶ池、バーベキューサイト、トリム遊具(体力づくり・健康促進)、ドッグランなどを備え、地域の人々の交流を育み、スポーツによる健康づくりを行うことができます。



スポーツ関連や地域の人々とともに運営するイベントも充実しており、今後は音楽フェス等の誘致にも取り組みたいと考えています。多様なライフスタイルを持つ中野区民のニーズに対応し、地域の特性を踏まえ公園の利活用や機能等の向上に力を入れることで、魅力的な公園環境づくりを目指していきます。

平和の森公園

所在地 中野区新井3-37-78
開園時間 常時開園(多目的運動広場は9:00から21:00まで)
休園日 なし
利用料金 無料(多目的運動広場の団体利用は有料)
アクセス 西武新宿線沼袋駅より徒歩4分
お問い合わせ 中野区立総合体育館 03-5860-0024



杉並区



緑のある屋上部から電車を眺められる公園

2022年(令和4年)、阿佐谷地域区民センター等複合施設建設に伴いリニューアルオープンした「阿佐ヶ谷公園」は、既存の公園(地上部)とともに複合施設の屋上を公園として整備した立体都市公園です。もともとあったけやきを残した地上部は、レクリエーションや地域交流の場として活用されるほか、災害時にはオープンスペースとなります。広々とした空間に芝生や花壇、ベンチなどを配した屋上部は、電車の往来や東京スカイツリーを眺めることができる絶景スポットとなっています。



公園の地上部には、小山に沿ったすべり台や複合遊具、下から眺めるミストのあるまちかど広場などがあります。屋上部は、電車の往来や杉並区内のみならず東京スカイツリーなどの景観を眺められるように登り部分がガラス張りになっています。芝生の上で満月を眺めながら行う屋上ヨガなど、公園を利用したイベントも随時開催し、人気となっています。

阿佐ヶ谷公園

所在地 杉並区阿佐谷北1-1-1
開園時間 地上部:常時開園、屋上部:9:00～21:00
休園日 地上部:なし、屋上部:第2火曜、12/28～1/4(強風発時、閉園する場合があります。)アクセス JR中央線阿佐ヶ谷駅より徒歩5分
お問い合わせ 杉並区都市整備部みどり公園課管理係 03-3312-2111
指定管理者:オーチャード緑地共同事業体 03-5356-9501



豊島区



天然芝の「街のリビング」で老若男女が憩う

2016年(平成28年)にリニューアルオープンした「南池袋公園」は、養生期間を伴う定期的なメンテナンスを行うことで維持している「冬でも枯れることのない緑の芝生広場」に多くの人が集まる公園です。池袋駅から近い都市型公園でありながら、四季を感じる植栽に寝転がることができる芝生、人気のカフェや子ども向け遊具などもあり、常時賑わっています。公園の運営を、行政と植栽管理受託業者やカフェ事業者とともに、地域住民が主体となって行うことで、公園の魅力をより高めています。



園内では年間を通じ、音楽イベントや映画会、マルシェ、環境教育イベント等が開催されています。街のリビングのような存在であり続けるとともに、地域の子もたちが大人になってこうしたイベントなどでの体験を思い出して戻ってくる、ふるさとのような公園になることが1つの願いです。

南池袋公園

所在地 豊島区南池袋2-21-1
開園時間 8:00～22:00
休園日 12/31～1/3
利用料金 無料
アクセス JR・東京メトロ池袋駅より徒歩5分
お問い合わせ 豊島区公園緑地課 03-3981-1111



北区



河川敷の広大な水辺空間を生かした賑わいの場

広大な荒川河川敷と、ランドマークになっている青色と赤色の新旧岩淵水門の景観を多くの方に親しんでもらうことを目的に、6つの緑地公園を「荒川緑地帯」として整備しました。108本のソメイヨシノが咲く桜並木と堤防斜面を彩る芝桜のフラワーアートや初夏が見ごろの菖蒲田、2つの水門(青水門・赤水門)のほか、荒川知水資料館、北区・子どもの水辺、バーベキュー場、野球場、サッカー場、テニスコートなどさまざまな見所を活かし、区内外から多くの人々が訪れるような賑わいの創出を目指しています。



子どもの水辺は、魚たちの貴重な産卵場所でもあり、環境学習の場として活用されています。国の「水辺の楽校プロジェクト」にも登録されており、国や区、学識者、地元の小学校などで組織する協議会により、生物調査や学習支援(学習受入れ)、かいぼり等の維持管理が行われています。

荒川緑地帯

所在地 北区岩淵町、志茂五丁目、赤羽三丁目
開園時間 常時開園
休園日 なし
利用料金 バーベキュー場など一部有料施設を除き無料
アクセス 東京メトロ赤羽岩淵駅より徒歩10分
お問い合わせ 北区荒川緑地帯いあいマネジメントグループ 03-3903-1383



荒川区



美しいバラ園や図書館など充実した施設が魅力

2022年(令和4年)にオープンした「宮前公園」は、「60種以上のバラを中心としたイングリッシュガーデン」や、3000㎡の芝生広場、テニスコート、子ども広場、保育園などさまざまな施設があり、「文化創造」、「子育て教育」、「生涯健康」、「安全安心」の4つの基本理念に基づき整備されました。メインエントランス近くには、尾久地域の知と文化の拠点として2021年(令和3年)に開館した「尾久図書館」があり、公園のシンボリックな役割を担っています。



ガーデンデザイナー監修による4つのエリアからなる四季の花々が楽しめるローズガーデンは、区外からも人が訪れる人気スポットです。全長約30mのローラーすべり台やはだいで歩ける天然芝生広場、遊具のある子ども広場などもあり、また、星空観察会やスポーツ体験会といったイベントも随時開催されています。

宮前公園

所在地 荒川区東尾久8-45-22
開園時間 常時開園(テニスコートの利用時間5月～9月 9:00～18:00、10月～4月 9:00～17:00)
休園日 なし(管理事務所は12/29～1/3休園)
利用料金 無料(テニスコートは有料)
アクセス 東京さくらトラム(都電荒川線) 宮ノ前駅より徒歩1分
お問い合わせ 宮前公園管理事務所 03-3810-2111



特別区自治情報・交流センターからのご案内

東京区政会館1階展示スペース

東京区政会館1階エントランスホールで各種展示を行っています。どなたでも自由にご覧いただけますが、開催期間・時間に変更になる場合もあります。ホームページ等でご確認のうえ、ご来館ください。

開催時間 平日|9:00～20:30 土曜日|9:00～17:00 日曜日・祝日|休館

特別区全国連携プロジェクト 令和5年度第2回全国連携展示

主催 特別区長会、(公財)特別区協議会
期間 令和6年1月10日(水)～2月27日(火)

特別区協議会展示 (仮称)「東京23区『特別区』の 現在・制度・歴史」

主催 (公財)特別区協議会
期間 令和6年3月9日(土)～3月27日(水)

特別区自治情報・交流センターのご利用について

- 〒102-0072 千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館4階
- 開館時間:9:30～20:30(土曜日は9:30～17:00)、休館日:日曜日、祝日、年末年始等

休館等のお知らせ

- 年末最終日 令和5年12月28日(木)17時閉館
- 年末年始 令和5年12月29日(金)～令和6年1月3日(水)休館
- 全館停電日 令和6年1月26日(金)17時閉館
令和6年1月27日(土)休館

※ご利用にあたっては、(公財)特別区協議会ホームページ等でご確認のうえ、ご来館ください。

(公財)特別区協議会ホームページ

<https://www.tokyo-23city.or.jp/>

特別区自治情報・交流センターホームページ

<https://ilisod004.apse.jp/tokyo-23city/>

特別区自治情報・交流センター(とくべつクマ)

X公式アカウント

@tokubetsukuma23



特別区自治情報・交流センター



東京メトロ 東西線 飯田橋駅 A5出口すぐ
東京メトロ 有楽町線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
東京メトロ 南北線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
都営地下鉄 大江戸線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
JR中央・総武線 飯田橋駅 東口徒歩2分

編集後記

区立公園の紹介シリーズ第3回をお届けします。外の空気は冷たくなりましたが、広い公園で身体を動かせば温まり、冬枯れの景色も趣があります。暖かな部屋から少し、外に出てみませんか。